

私たちは『臨床』検査技師です

◎坂下 真紀子¹⁾

特定医療法人社団 勝木会 やわたメディカルセンター¹⁾

1985年、リハビリテーション加賀八幡温泉病院（前病院名）の初めての臨床検査技師として就職しました。当時は今と違い検査技師は就職難でしたので、大学の先生から「PT、OTは充実しているけど、後輩が就職できるように病院内の仕事を増やすのは、あなただからね」と送り出された事が当院での職域拡大の原動力になっています。

技術の習得などは、もっぱら県技師会の勉強会が頼みの綱。困ったことがあれば近隣病院の技師長クラスの方に直接電話をして指示を仰ぐなど、他院の諸先輩方々に助けて頂いていました。

医療法上グレーな部分には手を出さない、が日臨技の方針でしたが、他職に超音波検査が認められた頃より、方針が変わったように受け止めました。石川県の中規模病院ではありますが、臨床検査技師という職種を地域の方に知っていただくこと、「診断の補助」領域だけでは物足りず、なんとか「治療への参画」ができないか機会を伺いながらおこなってきた業務拡大の紹介とともに、「検査前説明」～「検査結果の説明」の「説明」部分をもっと拡大し、「結果を利用した療養指導」ができる臨床検査技師仲間が全国に増えることを希望し、本シンポジウムに参加させていただきます。

【タスクシフト業務】《タスクシェア業務》の内容

- 2001年 新築移転し、やわたメディカルセンターに改名 2次救急開始
《心臓カテーテル診断カテ・治療カテ》に参画
- 2005年 PSG 検査開始
- 2006年 検体検査ブランチに向けての検討開始
- 2007年 ブランチ開始、【外来採血】は検査技師で担当 始業時間8:30から8:00へ繰り上げ
- 2008年 《ペースメーカー植え込み術立ち合い》、ペースメーカーチェック（現在はCE業務）
健診、出向心電図も加え、心電図全件判読開始
- 2009年 【CPAPデータ解析、機器不具合時の対応】
- 2010年 糖尿病透析予防指導管理チーム発足、中心メンバーに
- 2011年 糖尿病疾病管理MAP導入 《心リハ運動療法》参画
- 2013年 【CPAP導入説明、処方圧の機器設定】
- 2014年 検査説明・相談ができる臨床検査技師育成講習会 12名参加
- 2016年 日臨技『病棟業務量調査事業』参加 【睡眠呼吸障害外来看護師業務】
- 2017年 病棟のSMBG器をPOCT器へ変更 1/月点検開始
- 2018年 リブレ導入開始 説明から電極装着、解析、備品受け渡しなどすべて担当
SMBG器の1回/年定期点検開始 CPAP遠隔診療に関わる業務開始
- 2019年 【外来患者SMBG器不具合対応、新規導入時説明】
- 2020年 【外来患者SMBG備品対応】 コロナ抗原検査、PCR検査導入
- 2021年 タスクシフト実技講習 1名終了（2022.5時点13名）
《迅速ACTH負荷試験（留置針設置、生食ロックあり）他、採血を伴うルート確保》
- 2022年 【GTT トレーランG服用】

連絡先：0761-47-7513（直通）